

■地区復興まちづくり計画（素案）内覧会等の報告

（１）内覧会の概況

- ・日 時：1月19日～22日
- ・場 所：赤前コミュニティ消防センター
- ・来場者数：64名
- ・会場の様子：



（２）内覧会での意見等

■避難道路等について

1	既存家屋がある中で道路を拡幅するのは困難であると考えるので、赤前小学校の山側（家屋がないところ）に避難道路を整備することが望ましい。
2	今回の津波で浸水した釜ヶ沢の避難道路を浸水しないように嵩上げ整備が必要である。
3	渋滞解消のために国道の拡幅（高速に乗る車線をつくる）が必要である。

■嵩上げ道路について

1	嵩上げ道路について、釜ヶ沢まで伸ばして、避難道路につなげることが望ましい。
2	低地の中央部に居宅兼作業所を所有している。住宅を高台で作業所を低地では不便である。現地で再建できるよう嵩上げ道路をもう少し海側にずらしてほしい。

■高台移転候補地について

1	下組（釜ヶ沢）では避難道路より山側だけではなく、海側の山や丘を削って宅地造成すべきである。（海が見えるようになる、山側は日影が多い）
---	--

■住宅ゾーンについて

1	高齢者のために公営住宅を早く整備してほしい。
2	二重ローン対策をお願いする。新築したばかりで更なる借入れが困難である。
3	ふ化場脇の川や工業高校脇の水路等、水量が多く、大雨が降れば浸水する土地である。地震で地盤沈下しているし、二線堤背後を住宅ゾーンする場合は地盤の嵩上げが必要である。
4	二線堤ができてその背後に住むことは不安である。高台等へ移転したい。
5	住宅兼用工場がある。中小企業向け支援制度（4分の3補助）を申し込むか否かを検討している（1月末締め切り）。住宅は高台移転で良いが、移転できるまでの糧を得る必要もあるため、現地で工場

	を再建できるのか。
--	-----------

■農地ゾーンの活用について

1	海側に干潟をつくる。これにより栄養分の豊富な水をつくりホッキなどを養殖する。
2	農地を集約して意欲のある若者に農地を貸す、組合化するなどが必要である。ハウレンソウなど良いのではないか。

■津波避難タワーについて

1	津波避難タワーは日ごろも人が利用できるようにすべきである。人がいないと犯罪や事故の発生が心配である。
---	--

■検討の進め方について

1	被災した人間と被災していない人間ともごったにして検討するのはおかしい。被災者だけで住宅をどうするかを検討すべきであった。
2	堀内、小堀内も赤前地区として、一体的に検討しても良かったのではないか。堀内の検討状況を知りたい。